

第7章 学力向上に向けた施策取組結果等の状況

1

「みえの学力向上県民運動」主な関連指標(三重県の経年比較)

【関連：第1章P. 5～】

平成21・26・27・28年度の推移一覧

※「みえの学力向上県民運動」開始(H24)以前の直近の態勢調査(H21)、H26、H27、H28の調査と比較。
 ※表中のA・B・Cは、「全国との差」の変位を表し、Aは「改善・上昇」を、Bは「変動なし」、Cは「下降」を示す。
 ※表中の+・-は、三重県の割合の変位を表し、+は「改善・上昇」を、-は「下降」を表す。
 ※表中の○は、上記に示した「A、B、C」及び「+、-」の数値が±5ポイント以上離れていることを表す。
 ※表中の網かけは、当該年度に同じ質問項目がなかったものである。

■小学校■

＜児童質問紙＞

	質問紙 番号	質問項目		H 2 1	H 2 6	H 2 6→H 2 7	H 2 7	H 2 7→H 2 8	H 2 8	H 2 1→H 2 8
①		基本的生活習慣の状況 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」の平均値	三重県	87.2	88.3	B	88.3	+	89.1	+
			全国	87.1	88.7		88.7		88.8	
			全国との差	0.1	-0.4		-0.4		0.3	
	(1)	朝食を毎日食べている	三重県	95.8	95.7	B	95.3	+	95.7	-
			全国	96.0	96.0		95.6		95.5	
			全国との差	-0.2	-0.3		-0.3		0.2	
	(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	三重県	75.3	78.3	A	79.0	+	80.2	+
			全国	75.1	79.2		79.5		80.1	
			全国との差	0.2	-0.9		-0.5		0.1	
	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きている	三重県	90.5	90.9	C	90.7	+	91.4	+
			全国	90.2	90.9		91.0		90.8	
			全国との差	0.3	0.0		-0.3		0.6	
②		子どもたちの自尊感情の状況 「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する」「自分には、よいところがあると思う」の平均値	三重県	81.0	81.9	C	82.1	+	82.7	+
			全国	80.8	81.9		82.4		82.3	
			全国との差	0.2	0.0		-0.3		0.4	
	(4)	ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	三重県	93.8	94.6	C	94.5	+	94.9	+
			全国	93.8	94.4		94.5		94.4	
			全国との差	0.0	0.2		0.0		0.5	
	(5)	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する	三重県	74.1	75.4	C	76.6	+	77.6	+
			全国	74.1	75.1		76.4		76.1	
			全国との差	0.0	0.3		0.2		1.5	
	(6)	自分には、よいところがあると思う	三重県	75.1	75.7	C	75.1	+	75.5	+
			全国	74.6	76.1		76.4		76.3	
			全国との差	0.5	-0.4		-1.3		-0.8	
③	(9)	将来の夢や目標を持っている	三重県	84.3	85.8	C	85.3	-	83.7	-
			全国	86.3	86.7		86.5		85.3	
			全国との差	-2.0	-0.9		-1.2		-1.6	
④		平日の子どもたちのテレビ・テレビゲーム等の使用状況 「平日のテレビ等の視聴(3時間以上)」「平日のテレビゲーム等の使用(3時間以上)」の平均値	三重県	30.1	28.6	A	27.0	+	24.6	+
			全国	28.7	27.5		26.6		24.4	
			全国との差	1.4	1.1		0.4		0.2	
	(11)	平日のテレビ等の視聴(3時間以上)	三重県	47.1	38.4	A	35.8	+	32.4	+
			全国	45.7	38.0		36.1		32.8	
			全国との差	1.4	0.4		-0.3		-0.4	
	(12)	平日のテレビゲーム等の使用(スマホのゲームを含む)(3時間以上)	三重県	13.0	18.8	A	18.2	+	16.8	-
			全国	11.6	17.0		17.0		16.0	
			全国との差	1.4	1.8		1.2		0.8	
⑤	(13)	平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用(3時間以上) ※H21は「インターネット」	三重県	4.0	5.6	B	6.3	+	5.9	-
			全国	3.4	5.0		5.7		5.8	
			全国との差	0.6	0.6		0.6		0.1	
⑥	(14)	平日の学習時間(1時間以上)	三重県	55.4	59.4	C	58.4	+	60.4	+
			全国	57.2	62.0		62.7		62.5	
			全国との差	-1.8	-2.6		-4.3		-2.1	
⑦	(15)	休みの日の学習時間(1時間以上)	三重県	44.0	46.9	C	45.8	+	49.0	+
			全国	52.4	55.9		56.7		57.0	
			全国との差	-8.4	-9.0		-10.9		-8.0	
⑧	(17)	授業時間以外の読書時間(平日10分以上)	三重県	57.3	62.5	C	61.1	+	62.4	+
			全国	61.2	64.7		64.2		63.5	
			全国との差	-3.9	-2.2		-3.1		-1.1	
⑨	(19)	家の人(兄弟姉妹は含まない)と学校での出来事について話をする ※H21は「(兄弟姉妹は含まない)」の記述なし	三重県	69.5	78.9	A	78.6	-	78.2	+
			全国	70.9	80.4		79.5		79.2	
			全国との差	-1.4	-1.5		-0.9		-1.0	
⑩	(20)	家の手伝いをしている	三重県	77.3					82.5	+
			全国	78.5					82.8	
			全国との差	-1.2					-0.3	
⑪	(21)	家で、自分で計画を立てて勉強している	三重県	51.5	59.4	C	60.5	+	61.7	+
			全国	54.7	61.0		62.8		62.2	
			全国との差	-3.2	-1.6		-2.3		-0.5	
⑫	(24)	家で、学校の授業の復習をしている	三重県	39.1	48.7	A	50.1	+	54.2	+
			全国	46.0	54.0		54.5		55.2	
			全国との差	-6.9	-5.3		-4.4		-1.0	
⑬	(26)	学校に行くのが楽しい	三重県		86.6	C	86.9		86.9	
			全国		86.6		87.0		86.3	
			全国との差		0.0		-0.1		0.6	
⑭	(32)	先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う	三重県		80.1				83.8	
			全国		79.7				82.6	
			全国との差		0.4				1.2	

第7章 学力向上に向けた施策取組結果等の状況

	質問紙 番号	質問項目		H 2 1	H 2 6	H 2 6→H 2 7	H 2 7	H 2 7→H 2 8	H 2 8	H 2 1→H 2 8
⑮	(33)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる	三重県 全国 全国との差						87.8 84.8 3.0	
⑯	(34)	地域行事への参加	三重県 全国 全国との差	65.7 62.4 3.3	73.2 68.0 5.2	C -	72.0 66.9 5.1	A +	73.1 67.9 5.2	A ⊕
⑰	(35)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある ※H21は「今住んでいる地域の歴史や自然について」	三重県 全国 全国との差	46.0 47.2 -1.2	60.9 62.9 -2.0	C	60.9 63.9 -3.0	A +	71.3 70.6 0.7	A ⊕
⑱	(36)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがある	三重県 全国 全国との差						30.8 36.2 -5.4	
⑲		子どもたちの規範意識の状況 「学校のきまりを守っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」の平均値	三重県 全国 全国との差	91.3 92.0 -0.7	93.5 93.6 -0.1	A +	93.7 93.7 0.0	A +	94.4 94.0 0.4	A +
			三重県 全国 全国との差	87.0 88.5 -1.5	90.4 90.5 -0.1	B +	91.0 91.1 -0.1	A +	91.8 91.5 0.3	A +
			三重県 全国 全国との差	94.7 94.9 -0.2	96.3 96.4 -0.1	A +	96.5 96.2 0.3	A +	96.8 96.6 0.2	A +
	(39)	学校のきまりを守っている	三重県 全国 全国との差	87.0 88.5 -1.5	90.4 90.5 -0.1	B +	91.0 91.1 -0.1	A +	91.8 91.5 0.3	A +
	(42)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	三重県 全国 全国との差	94.7 94.9 -0.2	96.3 96.4 -0.1	A +	96.5 96.2 0.3	A +	96.8 96.6 0.2	A +
	(43)	人の役に立つ人間になりたいと思う	三重県 全国 全国との差	92.2 92.5 -0.3	93.7 94.0 -0.3	A	93.7 93.7 0.0	A +	94.5 93.8 0.7	A +
	(50)	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいる	三重県 全国 全国との差				71.0 74.2 -3.2	A +	75.0 75.7 -0.7	
	(53)	授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」	三重県 全国 全国との差		75.7 82.0 -6.3	A ⊕	83.0 86.3 -3.3	A +	88.8 87.6 1.2	
	(54)	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県 全国 全国との差		67.1 71.9 -4.8	A +	71.4 75.3 -3.9	A ⊕	76.9 76.1 0.8	
	(63)	国語の授業の内容がよく分かる	三重県 全国 全国との差	78.6 80.0 -1.4	79.7 80.1 -0.4	A +	82.2 82.0 0.2	A -	81.4 80.7 0.7	A +
	(73)	算数の授業の内容がよく分かる	三重県 全国 全国との差	78.7 79.2 -0.5	79.0 79.6 -0.6	A +	81.3 81.0 0.3	A +	82.6 80.2 2.4	A +
	(45)	授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ ※「総合的な学習の時間」、国語、算数の平均値	三重県 全国 全国との差	82.2 83.6 -1.4	86.4 87.1 -0.7	A +	87.5 88.1 -0.6	A +	88.4 87.4 1.0	A ⊕
⑳	(45)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ	三重県 全国 全国との差	76.5 77.5 -1.0	84.6 85.0 -0.4	C -	84.5 85.4 -0.9	A +	84.6 83.2 1.4	A ⊕
	(65)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	三重県 全国 全国との差	83.3 85.1 -1.8	86.4 87.4 -1.0	A +	88.0 88.6 -0.6	A +	90.0 89.2 0.8	A ⊕
	(77)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	三重県 全国 全国との差	86.7 88.2 -1.5	88.2 89.0 -0.8	A +	90.0 90.3 -0.3	A +	90.5 89.9 0.6	A +

《学校質問紙》

	質問紙 番号	質問項目		H 2 1	H 2 6	H 2 6→H 2 7	H 2 7	H 2 7→H 2 8	H 2 8	H 2 1→H 2 8
㉔	(24)	対象児童に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に実施（学期に数回以上） ※H21～28は「学校図書館を活用」	三重県 全国 全国との差	69.8 77.8 -8.0	77.2 80.5 -3.3	A +	81.8 82.6 -0.8	A +	83.1 83.0 0.1	A ⊕
㉕	(25)	対象児童に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施（週に2回以上）	三重県 全国 全国との差	15.9 14.2 1.7	18.9 17.5 1.4	A +	22.7 17.7 5.0	C -	21.8 17.9 3.9	A ⊕
㉖	(36)	授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」	三重県 全国 全国との差		91.3 96.9 -5.6	A ⊕	97.8 98.1 -0.3	A +	98.7 98.8 -0.1	
㉗	(37)	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県 全国 全国との差		76.3 91.6 -15.3	A ⊕	89.9 93.9 -4.0	A +	93.0 94.9 -1.9	
㉘	(53)	学校生活の中で子どもたち一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、児童生徒に伝えるなど積極的に評価	三重県 全国 全国との差		97.1 96.9 0.2	A +	97.6 96.7 0.9	A +	99.4 98.4 1.0	
㉙	(60)	前年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用	三重県 全国 全国との差	72.0 83.5 -11.5	92.9 93.6 -0.7	A ⊕	98.1 95.8 2.3	C -	97.6 97.0 0.6	A ⊕
㉚	(84)	地域等の人材を招へいた授業等の実施	三重県 全国 全国との差	79.7 74.2 5.5	81.9 76.3 5.6	A +	82.9 76.3 6.6	C ⊕	88.4 82.4 6.0	A ⊕
㉛	(116)	校長の授業の見回り（週に2日以上）	三重県 全国 全国との差	65.1 81.5 -16.4	84.5 91.6 -7.1	A ⊕	95.4 93.1 2.3	A +	98.2 94.2 4.0	A ⊕

■■中学校■■

《生徒質問紙》

質問紙 番号	質問項目		H 2 1	H 2 6	H 2 6→H 2 7	H 2 7	H 2 7→H 2 8	H 2 8	H 2 1→H 2 8
①	基本的な生活習慣の状況 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に就寝している」「毎日、同じくらいの時刻に起床している」の平均値	三重県	84.0	86.9	C -	86.8	A +	87.4	A +
		全国	84.2	86.6		86.9		86.9	
		全国との差	-0.2	0.3		-0.1		0.5	
	(1) 朝食を毎日食べている	三重県	92.3	93.3	C -	93.1	A +	93.8	A +
		全国	92.4	93.5		93.5		93.3	
		全国との差	-0.1	-0.2		-0.4		0.5	
	(2) 毎日、同じくらいの時刻に就寝している	三重県	69.0	75.0	C +	75.3	A +	75.6	A ⊕
		全国	69.4	74.1		75.2		75.2	
		全国との差	-0.4	0.9		0.1		0.4	
	(3) 毎日、同じくらいの時刻に起床している	三重県	90.8	92.3	C -	91.9	A +	92.7	A +
		全国	90.9	92.1		92.1		92.3	
		全国との差	-0.1	0.2		-0.2		0.4	
②	子どもたちの自尊感情の状況 「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦する」「自分には、よいところがあると思う」の平均値	三重県	72.9	77.7	C +	78.1	A +	79.0	A +
		全国	71.7	76.3		77.0		77.7	
		全国との差	1.2	1.4		1.1		1.3	
	(4) ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	三重県	92.8	94.6	A +	95.1	C -	95.0	C +
		全国	91.9	93.9		94.2		94.3	
		全国との差	0.9	0.7		0.9		0.7	
	(5) 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦する	三重県	63.0	69.5	C +	69.7	A +	70.8	A ⊕
		全国	62.1	68.0		68.8		69.6	
		全国との差	0.9	1.5		0.9		1.2	
	(6) 自分には、よいところがあると思う	三重県	63.0	69.1	C +	69.4	A +	71.3	A ⊕
		全国	61.2	67.1		68.1		69.3	
		全国との差	1.8	2.0		1.3		2.0	
③	(9) 将来の夢や目標を持っている	三重県	71.4	71.6	C +	71.7	C -	71.0	C -
		全国	71.0	71.4		71.7		71.1	
		全国との差	0.4	0.2		0.0		-0.1	
④	平日の子どもたちのテレビ・テレビゲーム等の使用状況 「平日のテレビ等の視聴（3時間以上）」「平日のテレビゲーム等の使用（3時間以上）」の平均値	三重県	27.6	29.6	A +	27.7	A +	23.4	A +
		全国	24.2	25.9		25.5		21.5	
		全国との差	3.4	3.7		2.2		1.9	
	(11) 平日のテレビ等の視聴（3時間以上）	三重県	42.1	35.2	A +	32.4	A ⊕	25.5	A ⊕
		全国	38.0	31.5		30.5		24.1	
		全国との差	4.1	3.7		1.9		1.4	
	(12) 平日のテレビゲーム等の使用（スマホのゲームを含む）（3時間以上）	三重県	13.1	24.0	A +	22.9	A +	21.2	A -
		全国	10.4	20.3		20.5		18.9	
		全国との差	2.7	3.7		2.4		2.3	
⑤	(13) 平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用（3時間以上） ※H21は「インターネット」	三重県	10.2	24.5	A +	21.5	A +	18.6	C ⊖
		全国	8.6	19.8		18.2		16.6	
		全国との差	1.6	4.7		3.3		2.0	
⑥	(14) 平日の学習時間（1時間以上）	三重県	64.6	64.4	A +	66.5	C -	65.2	C +
		全国	65.3	67.9		69.0		67.9	
		全国との差	-0.7	-3.5		-2.5		-2.7	
⑦	(15) 休みの日の学習時間（1時間以上）	三重県	52.7	57.4	A +	59.9	A -	59.8	A ⊕
		全国	62.5	67.4		68.7		67.8	
		全国との差	-9.8	-10.0		-8.8		-8.0	
⑧	(17) 授業時間以外に読書をする子どもたちの割合（10分以上）	三重県	48.4	50.7	C -	48.6	A -	46.4	C -
		全国	47.9	53.0		52.2		49.7	
		全国との差	0.5	-2.3		-3.6		-3.3	
⑨	(19) 家の人（兄弟姉妹は含まない）と学校での出来事について話をする ※H21は「（兄弟姉妹は含まない）」の記述なし	三重県	60.1	72.5	C +	73.4	C +	73.7	C +
		全国	59.8	72.6		73.7		74.1	
		全国との差	0.3	-0.1		-0.3		-0.4	
⑩	(20) 家の手伝いをしている	三重県	61.2					66.8	A ⊕
		全国	63.0					67.2	
		全国との差	-1.8					-0.4	
⑪	(21) 家で、自分で計画を立てて勉強している	三重県	36.8	47.3	A +	51.0	C -	50.3	A ⊕
		全国	37.9	46.6		48.8		48.4	
		全国との差	-1.1	0.7		2.2		1.9	
⑫	(24) 家で、学校の授業の復習をしている	三重県	33.7	45.5	A +	48.9	A -	48.5	A ⊕
		全国	40.5	50.4		52.0		51.0	
		全国との差	-6.8	-4.9		-3.1		-2.5	
⑬	(26) 学校に行くのが楽しい	三重県		84.8	C -	83.9	A +	84.0	
		全国		82.4		82.1		81.4	
		全国との差		2.4		1.8		2.6	
⑭	(32) 先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う	三重県		74.0				79.6	
		全国		74.1				78.0	
		全国との差		-0.1				1.6	

第7章 学力向上に向けた施策取組結果等の状況

質問紙番号	質問項目		H 2 1	H 2 6	H 2 6→H 2 7	H 2 7	H 2 7→H 2 8	H 2 8	H 2 1→H 2 8
⑮ (33)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる	三重県						77.4	
		全国						74.1	
		全国との差						3.3	
⑯ (34)	地域行事への参加	三重県	43.6	50.4		50.7		50.9	⊕
		全国	37.8	43.5	C	44.8	C	45.2	C
		全国との差	5.8	6.9		5.9		5.7	
⑰ (35)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある ※H21は「今住んでいる地域の歴史や自然について」	三重県	23.9	54.6		53.6		65.9	⊕
		全国	23.4	55.6	C	55.9	A	65.8	C
		全国との差	0.5	-1.0		-2.3		0.1	
⑱ (36)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがある	三重県						45.7	
		全国						48.7	
		全国との差						-3.0	
⑲	子どもたちの規範意識の状況 「学校の規則を守っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」の平均値	三重県	90.0	93.3		94.4		94.2	+
		全国	89.8	93.5	A	93.9	B	93.7	A
		全国との差	0.2	-0.2		0.5		0.5	
	(39) 学校の規則を守っている	三重県	89.2	93.4		95.2		95.9	⊕
		全国	88.6	93.0	A	94.4	A	94.7	A
		全国との差	0.6	0.4		0.8		1.2	
	(42) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	三重県	89.8	92.8		93.9		93.7	+
		全国	90.3	93.4	A	93.7	C	93.6	A
		全国との差	-0.5	-0.6		0.2		0.1	
	(43) 人の役に立つ人間になりたいと思う	三重県	91.0	93.8		94.1		93.0	+
		全国	90.4	94.0	A	93.7	C	92.8	C
		全国との差	0.6	-0.2		0.4		0.2	
⑳ (50)	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいる	三重県				69.9		73.1	
		全国				65.7	C	69.3	
		全国との差				4.2		3.8	
㉑ (53)	授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」	三重県		62.1		75.5		85.5	
		全国		71.5	⊕	79.7	⊕	84.9	
		全国との差		-9.4		-4.2		0.6	
㉒ (54)	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県		51.4		58.3		68.8	
		全国		53.3	A	59.3	⊕	63.1	
		全国との差		-1.9		-1.0		5.7	
㉓ (63)	国語の授業の内容がよく分かる	三重県	68.1	73.4		76.3		75.4	⊕
		全国	68.8	72.0	A	74.3	C	74.1	A
		全国との差	-0.7	1.4		2.0		1.3	
㉔ (73)	数学の授業の内容がよく分かる	三重県	68.0	73.9		75.4		74.9	⊕
		全国	64.9	71.5	A	71.6	A	69.4	A
		全国との差	3.1	2.4		3.8		5.5	
㉕	授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ ※「総合的な学習の時間」、国語、数学の平均値	三重県	67.0	75.2		78.4		77.9	⊕
		全国	67.4	75.0	A	77.1	A	76.3	A
		全国との差	-0.4	0.2		1.3		1.6	
	(45) 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ	三重県	60.0	72.5		76.9		75.2	⊕
		全国	58.7	71.2	A	74.6	A	72.8	A
		全国との差	1.3	1.3		2.3		2.4	
	(65) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	三重県	77.3	82.0		85.0		85.4	⊕
		全国	78.4	82.5	A	84.2	B	84.6	A
		全国との差	-1.1	-0.5		0.8		0.8	
	(77) 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	三重県	63.7	71.0		73.2		73.1	⊕
		全国	65.2	71.4	A	72.5	A	71.5	A
		全国との差	-1.5	-0.4		0.7		1.6	

《学校質問紙》

質問紙番号	質問項目		H 2 1	H 2 6	H 2 6→H 2 7	H 2 7	H 2 7→H 2 8	H 2 8	H 2 1→H 2 8
㉖ (24)	対象生徒に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に実施（学期に数回以上） ※H21～28は「学校図書館を活用」	三重県	35.2	39.5		44.7		45.3	⊕
		全国	47.6	42.2	A	44.9	C	46.5	⊕
		全国との差	-12.4	-2.7		-0.2		-1.2	
㉗ (25)	対象生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施（「週に2回以上」）	三重県	12.1	11.8		13.7		12.0	-
		全国	13.6	14.1	A	14.9	C	15.6	C
		全国との差	-1.5	-2.3		-1.2		-3.6	
㉘ (36)	授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」	三重県		88.3		87.6		100.0	
		全国		94.0	C	95.7	⊕	97.8	
		全国との差		-5.7		-8.1		2.2	
㉙ (37)	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県		84.5		87.5		96.2	
		全国		89.2	A	90.9	⊕	93.0	
		全国との差		-4.7		-3.4		3.2	
㉚ (53)	学校生活の中で子どもたち一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、児童生徒に伝えるなど積極的に評価	三重県		96.9		99.4		98.8	
		全国		96.5	A	95.8	C	97.2	
		全国との差		0.4		3.6		1.6	
㉛ (60)	前年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用	三重県	71.5	91.4		94.4		95.5	⊕
		全国	78.7	90.4	A	93.2	C	94.8	⊕
		全国との差	-7.2	1.0		1.2		0.7	
㉜ (83)	地域等の人材を招へいた授業等の実施	三重県	55.1	61.7		64.0		74.2	⊕
		全国	56.6	58.5	A	58.8	A	65.1	⊕
		全国との差	-1.5	3.2		5.2		9.1	
㉝ (114)	校長の授業の見回り（週に2日以上）	三重県	53.3	69.2		81.4		88.1	⊕
		全国	68.3	79.3	⊕	81.4	⊕	82.6	⊕
		全国との差	-15.0	-10.1		0.0		5.5	

全国学力・学習状況調査は4月に実施されることから、教科に関する調査では前年度までの学習状況を、質問紙調査では前年度までの取組状況をまとめています。このことから、平成28年度調査では平成27年度を取組を中心に検証することになります。

平成27年度学力向上に向けた指導体制確立支援事業について

【関連：第1章P.7】

児童生徒の学力向上を図るため、全国学力・学習状況調査の活用に係る市町の取組への支援を行うとともに、県教育委員会の指導主事や学力向上アドバイザー等を、学力の定着に課題を抱え、主体的に課題改善に取り組む実践推進校（小学校70校、中学校30校）へ派遣するなどし、取組を支援してきました。なお、本事業は、平成26年度及び平成27年度の2年間で実施しているため、平成26年度以降の状況を分析しています。

平均正答率について

全国と実践推進校の4教科の平均正答率の合計の差による検証を行いました。

指定校：小学校70校、中学校30校(平成26年度・平成27年度指定)

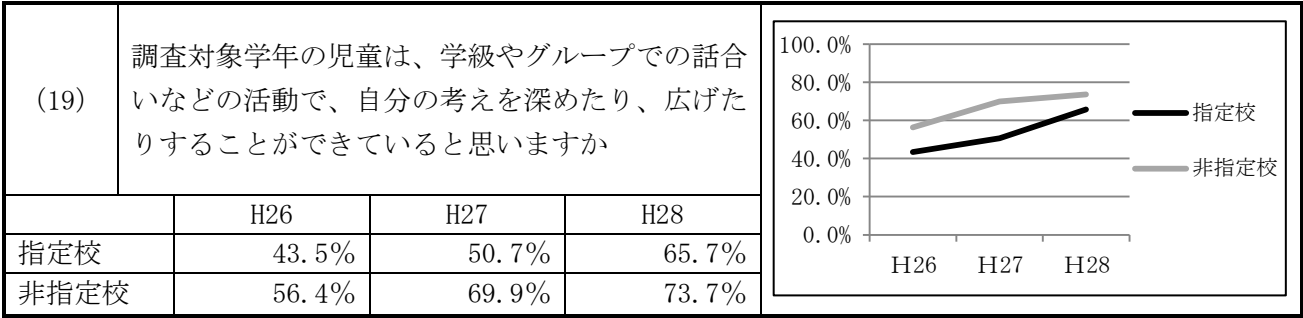
	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
H26 ↓ H27	○	○	○	◎	○	◎	◎	◎
H27 ↓ H28	◎	◎	◎	◎	◎	□	×	×
H26 ↓ H28	◎	◎	◎	◎	○	○	×	○

- ◎…全国と指定校との差が改善されており、非指定校よりも改善幅が大きい。
- …全国と指定校との差が改善されているが、非指定校よりは改善幅が小さい。
- …全国と指定校との差が変わらず、非指定校より改善幅が大きい。
- ×…全国と指定校との差が改善されておらず、非指定校よりも改善幅が小さい。

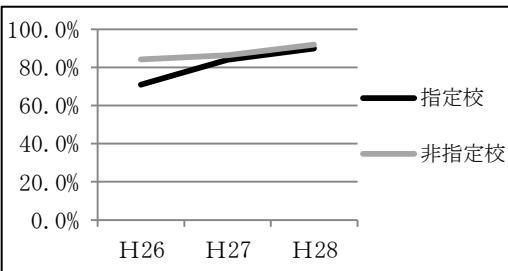
学校質問紙について

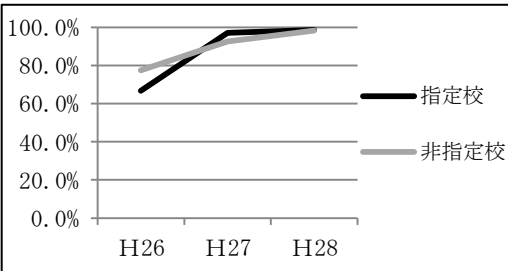
実践推進校（平成26年度・平成27年度指定校）の取組について、肯定的な回答をした割合の経年の変化及び非指定校との比較から、実践推進校が特に力を入れてきたと考えられる取組は、次のようになります。

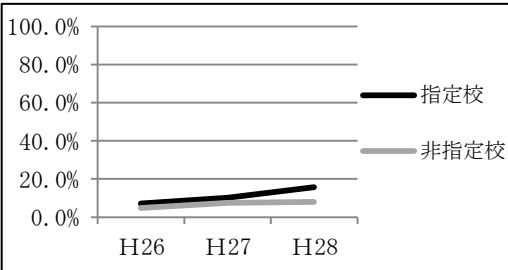
【小学校】

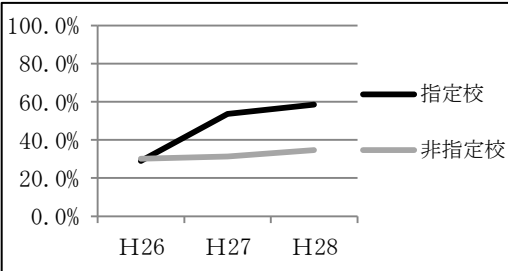


第7章 学力向上に向けた施策取組結果等の状況

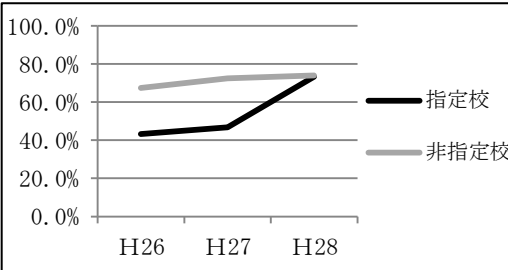
(38)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか			
	H26	H27	H28	
指定校	71.0%	84.1%	90.0%	
非指定校	84.3%	86.5%	92.0%	

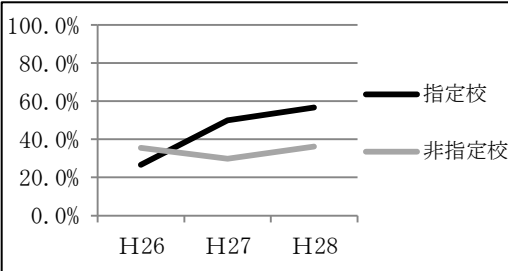
(63)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか			
	H26	H27	H28	
指定校	66.7%	97.1%	98.6%	
非指定校	77.6%	92.6%	98.3%	

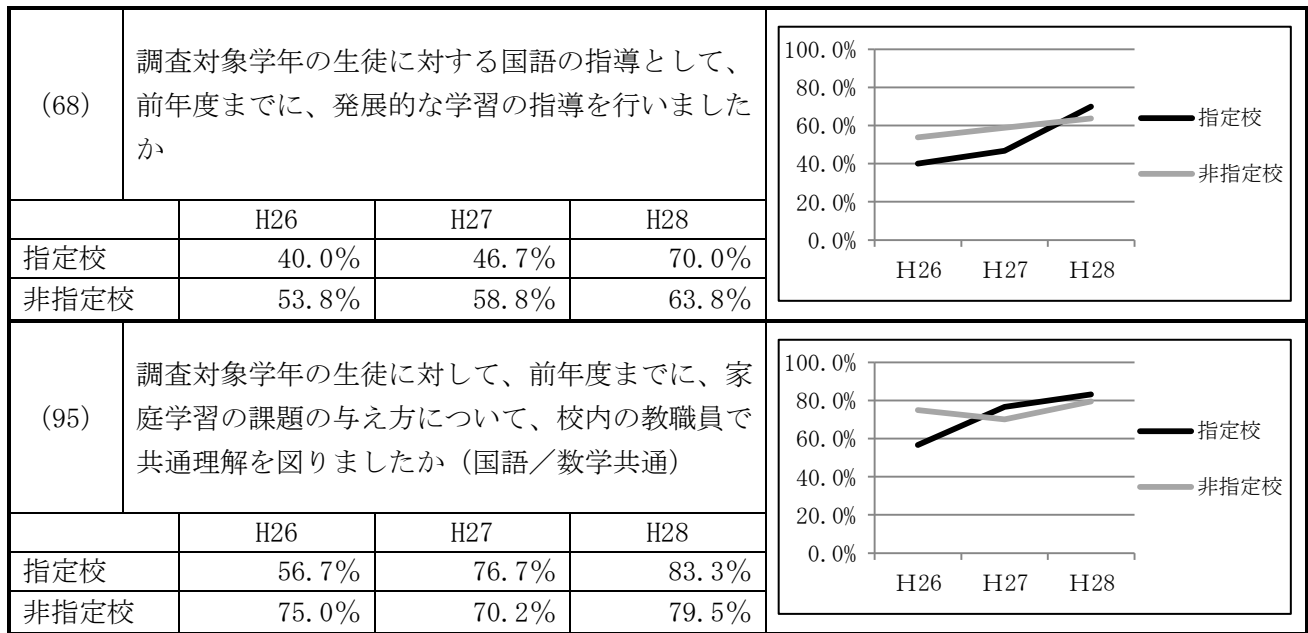
(65)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか			
	H26	H27	H28	
指定校	7.2%	10.1%	15.7%	
非指定校	4.8%	7.4%	8.0%	

(66)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、ティームティーチングによる指導を行いましたか			
	H26	H27	H28	
指定校	29.0%	53.6%	58.6%	
非指定校	30.1%	31.4%	34.7%	

【中学校】

(17)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか			
	H26	H27	H28	
指定校	43.3%	46.7%	73.3%	
非指定校	67.4%	72.5%	74.0%	

(66)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、ティームティーチングによる指導を行いましたか			
	H26	H27	H28	
指定校	26.7%	50.0%	56.7%	
非指定校	35.6%	29.8%	36.2%	



分析結果

- ・各教科の平均正答率では、小中学校ともに課題を抱えるところが少なくない中、ほとんどの教科で全国との差が縮まり改善が見られます。特に小学校では、改善の幅が全教科で非指定校より大きいです。
- ・小学校では、各教科の指導において言語活動の充実を図るとともに、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めることなどができている割合が高い状況です。
- ・小学校の算数の授業では、習熟の早いグループに対して発展的な内容を扱ったり、チーム・ティーチングを行ったりと、指導の工夫が見られます。中学校でも国語の指導で発展的な学習や、数学の授業でチーム・ティーチングを行う割合が高くなっています。
- ・中学校では、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図る割合が高い状況です。

改善ポイントなど

- ・学習指導要領の改訂等を見据えて、話し合いなどの活動を取り入れ、自分の考えを伝えたり、深め、広げたりする活動を取り入れていくことが大切です。
- ・児童生徒の実態や個に応じた指導や効果的な少人数指導の研究を行い、実践を重ねていくことで、更なる学力向上が期待できます。
- ・本県では、平成28年度より「わかる授業」促進事業において、効果的な少人数指導（習熟度別少人数指導、チーム・ティーチング）のあり方についての実証的な検証と普及のための研究を、実践推進校101校（小学校81校、中学校20校）を指定して行っているところです。
これまでの実践の具体的な取組は、以下のとおりです。
 - 習熟度別少人数指導、チーム・ティーチングの学習内容、コース別学習、コース分け等について、児童生徒及び保護者への説明会を実施
 - 習熟度別少人数指導におけるレディネステストの実施、レディネステストを資料とするとともに、丁寧な児童生徒への聞き取りによるコース分け
 - 習熟度別少人数指導におけるコース分けを2クラス3コースで実施、よりきめ細かな指導を促進
 - 単元計画時に学習形態の計画を構築

平成27年度地域と協働する学校運営支援事業について

【関連：第1章P.12】

社会全体で子どもを育てるという視点を重視し、学校・家庭・地域が一体となって課題を共有し、保護者や地域住民等による学校運営や教育活動への積極的な参画を進めるため、市町等教育委員会と連携し、公立小中学校へのコミュニティ・スクール等の導入を進めてきました。

平均正答率について

平成27年度までにコミュニティ・スクールに指定されている学校（小学校40校、中学校17校）の結果を分析しました。

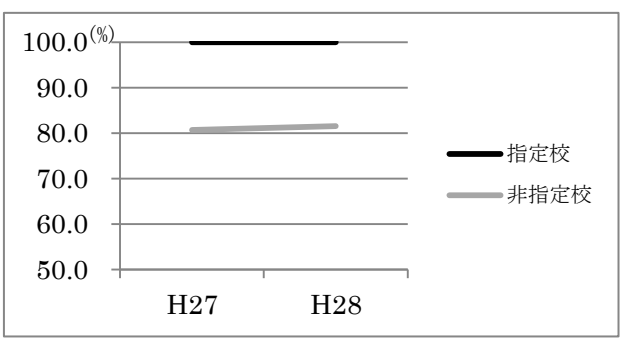
平成27年度から平成28年度までの短期比較では、基本的に改善が見られました。更に、平成21年度から平成28年度までの長期比較においても、多くの教科で全国との差が縮まるとともに、非指定校より改善が見られました。

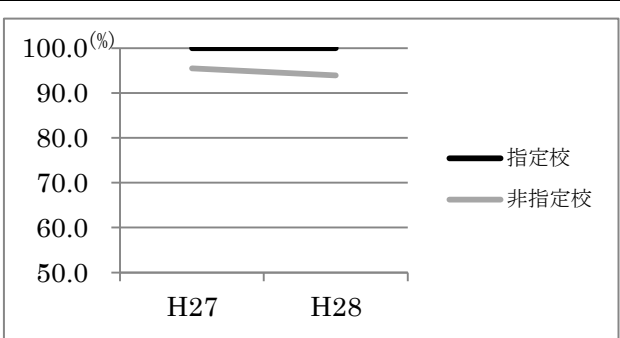
	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
H27→H28	×	○	◎	◎	×	△	○	◎
H21→H28	×	◎	○	◎	◎	◎	◎	×

- ◎…全国と指定校との差が改善されており、非指定校よりも改善幅が大きい。
○…全国と指定校との差が改善されているが、非指定校よりは改善幅が小さい。
△…全国と指定校との差が改善されていないが、非指定校よりは改善幅が大きい。
×…全国と指定校との差が改善されておらず、非指定校よりも改善幅が小さい。

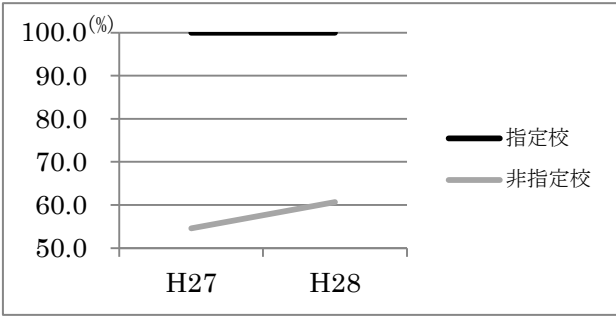
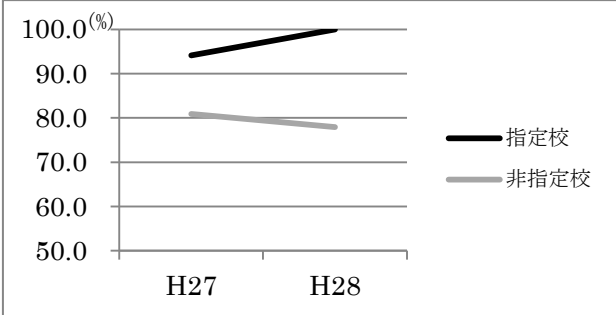
学校質問紙について

【小学校】

(90)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人々が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか			
		H27		H28
	指定校	100.0%		100.0%
	非指定校	80.7%	81.5%	

(91)	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか			
		H27		H28
	指定校	100.0%		100.0%
	非指定校	95.5%	93.9%	

【中学校】

(88)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか		
		H27	H28
指定校		100.0%	100.0%
非指定校		54.6%	60.7%
(89)	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか		
		H27	H28
指定校		94.1%	100.0%
非指定校		80.9%	77.9%

分析結果

- ・コミュニティ・スクールに指定されている学校では、長期比較（H21→H28）、短期比較（H27→H28）ともに多くの教科で全国の平均正答率との差が改善されています。県内の非設置校との比較でも、小学校国語B、算数B、中学校国語A・B、数学Aでは、長期比較において改善が見られました。
- ・指定校では、保護者や地域住民が学校運営に参画することで、様々な教育活動への連携・協働体制が構築されています。また、学校支援ボランティア活動によって、教職員も教育水準の向上を実感しており、子どもたちの豊かな育ちが実現されています。

改善ポイントなど

- ・学校・家庭・地域が連携・協働して児童生徒の成長を支えていく仕組みを整え、地域人材を活用した地域とともにある学校づくりを推進するとともに、学校支援地域本部等との連携から段階的にコミュニティ・スクールへのステップアップを促進していく必要があります。
- ・学校運営に保護者や地域の人々が参画し、共通の目標やビジョンをもって地域の創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進めていきながら、子どもたちの学びを支えていく必要があります。

平成27年度学校支援地域本部事業について

【関連：第1章P.12】

大学生や教員OB等、地域住民がその知識・技能を活用し、教科指導の補助を行う等、学校支援地域本部の仕組みを導入した地域による学力向上の支援体制を構築してきました。

平均正答率について

平成27年度に学校支援地域本部を設置している学校のうち学習支援を35日以上実施している学校（以下、実施校）の調査結果を分析しました。

学校支援地域本部設置校のうち学習支援を35日以上実施校：小学校52校、中学校7校（平成28年3月31日現在）

	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
H27→H28	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×
H21→H28	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎…全国と実施校との差が縮まっており、非実施校よりも差が大きい。

○…全国と実施校との差が縮まっているが、非実施校よりは差が小さい。

×…全国と実施校との差が広がっており、非実施校より差が大きい。

学校質問紙について

【小学校】

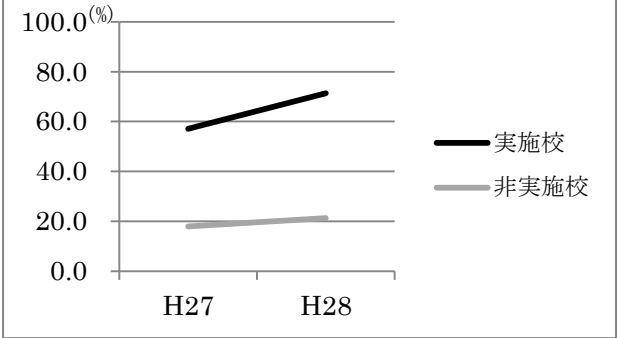
(85)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか				
		H27	H28		
	実施校	67.3%	82.7%		
	非実施校	33.9%	34.9%		

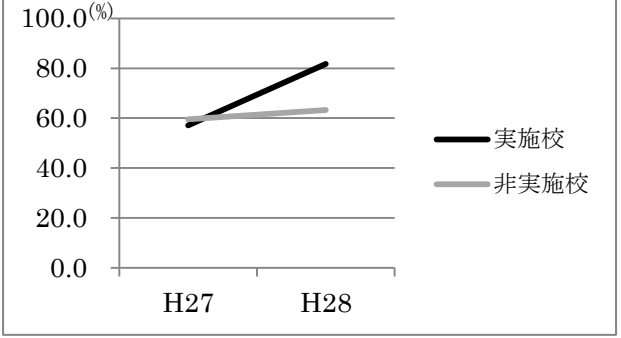
Year	実施校 (%)	非実施校 (%)
H27	67.3	33.9
H28	82.7	34.9

(90)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか				
		H27	H28		
	実施校	94.2%	96.2%		
	非実施校	80.9%	81.5%		

Year	実施校 (%)	非実施校 (%)
H27	94.2	80.9
H28	96.2	81.5

【中学校】

(84)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか		
		H27	H28
実施校		57.1%	71.4%
非実施校		17.9%	21.3%

(88)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか		
		H27	H28
実施校		57.1%	81.8%
非実施校		59.6%	63.3%

分析結果

- ・実施校の H28 の平均正答率は、平成 27 年度と比較すると中学校の数学Bを除く 7 教科で全国の平均正答率との差が改善されています。また、平成 21 年度と比較すると、全教科で全国との差が縮まり、小学校の国語Aを除く 7 教科で非実施校よりも改善が見られます。
- ・実施校では、ボランティア等による授業サポートを行うなど、学力向上に向けた活動の充実が図られています。また、保護者や地域の人々の学校における教育活動や様々な活動への参加が増加することにより、子どもたちの教育環境の充実が図られています。

改善ポイントなど

- ・ボランティア等の授業サポートを行っている学校は増加傾向にあります。今後も、子どもたちの学びと育ちを支えるため、学校の教育活動を組織的に支援するとともに、地域の教育資源を組織化・ネットワーク化する仕組みを構築することが大切です。
- ・学校支援地域本部の導入を拡充することにより、大学生や退職教員等の地域住民の知識・技能を活用した学校支援体制づくりを促進する必要があります。なお、小学校に比べ中学校への学習支援はまだまだ少ない状況にあることから、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身に付いていなかったりする中学生等を対象とした学習支援「地域未来塾」等を導入し、中学生に対する学習支援の充実を図る必要があります。

平成27年度子ども支援ネットワーク構築事業について

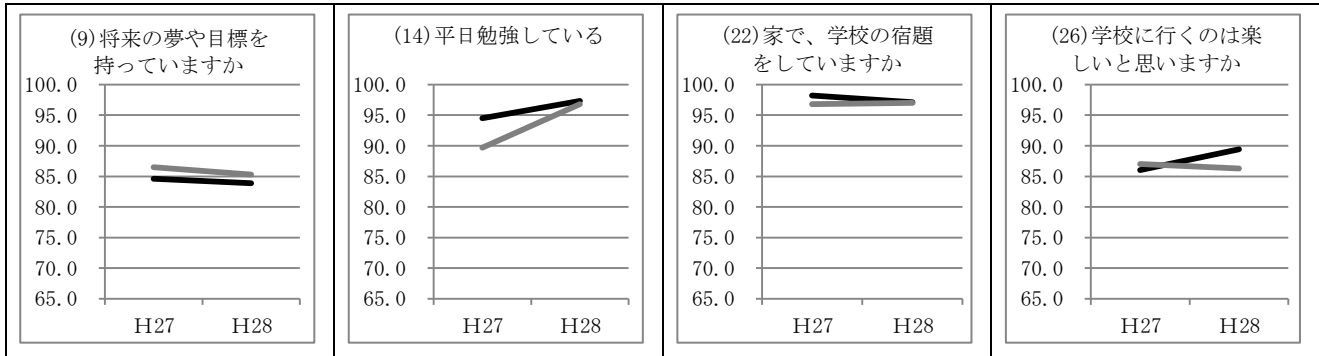
平成24年度より、毎年10中学校区程度を指定し、教育的に不利な環境のもとにある子どもの自尊心や学習意欲が高まるよう、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの学びを支援する「子ども支援ネットワーク」の構築に取り組んできました。

平成27年度の8指定中学校区（小学校17校、中学校8校）について、関連する質問紙に対して肯定的な回答の結果を分析しました。

番号	項目内容		小学校	中学校
(9)	将来の夢や目標を持っていますか	27年度	84.6%	70.3%
		28年度	83.9%	74.5%
		28－27	－0.7%	＋4.2%
(14)	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか *勉強をしていると回答した割合	27年度	94.5%	95.0%
		28年度	97.3%	94.7%
		28－27	＋2.8%	－0.3%
(22)	家で、学校の宿題をしていますか	27年度	98.2%	87.9%
		28年度	97.1%	91.4%
		28－27	－1.1%	＋3.5%
(26)	学校に行くのは楽しいと思いますか	27年度	86.0%	84.6%
		28年度	89.4%	83.0%
		28－27	＋3.4%	－1.6%

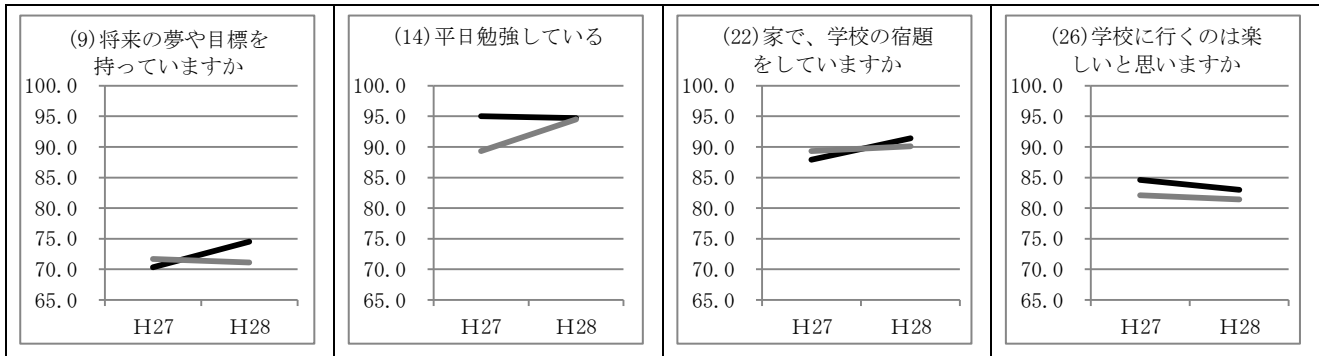
【小学校】

（指定校：——、全国：——）



【中学校】

（指定校：——、全国：——）



分析結果

- ・小学校では、「学校に行くのは楽しいと思う」と肯定的な回答をした児童は、3.4 ポイント、「学校の授業時間以外に、普段、勉強を行っている」とした児童は、2.8 ポイントの向上が見られます。本事業において、学校・家庭・地域が連携し、各主体が積極的に子どもたちに係わる取組を創出することで、効果を上げています。
- ・中学校では、「将来の夢や目標を持っている」と肯定的な回答をした生徒は、4 ポイント以上向上しており、将来への展望を持たせることをねらいとした、本事業での取組の効果が顕著に表れています。なお、三重県全体では、「将来の夢や目標を持っている」と肯定的な回答をした生徒は、昨年度より若干減少している状況です。
- ・今後も、人権学習を中心とした体験学習や補足的な学習に取り組み、子ども支援ネットワークの継続した活性化が重要です。

改善ポイントなど

- ・自尊感情を高めていく人権学習の取組を更に充実させていくことが必要です。また、自尊感情は教科学習と切り離すことはできません。教育的に不利な環境のもとにある子どもを焦点化し、教科学習における支援を具体化させ、「わかった」「できた」という体験の積み重ねが重要です。
- ・人権教育やキャリア教育を通して、地域の多様な主体が関わり、子どもが将来の夢や目標となる具体的な生き方のモデルと出会う取組等、社会生活を送る上で大切な力を高めていく活動も有効です。

平成 27 年度すべての子どもが輝く学校づくり支援事業について

県内 8 市町の 10 中学校区の小中学校を指定校として、子どもたちが自らつながり合い、問題を解決していく力を育成し、いじめや暴力等のない安全・安心な学校づくりに取り組んできました。

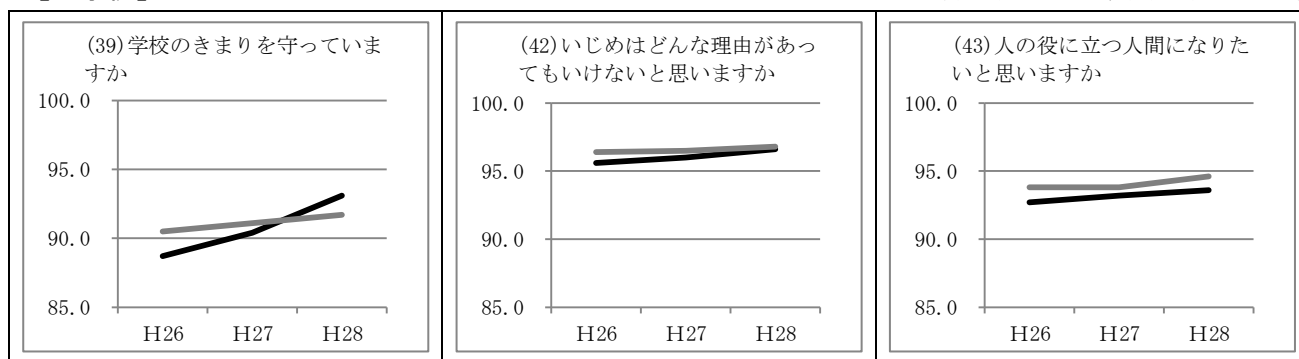
平成 27 年度の 10 中学校区(小学校 29 校、中学校 10 校)の結果を分析しました。

(表中の数値の単位は、%を示す。)

番号	項目 【児童生徒質問紙】		小学校			中学校		
			H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 6	H 2 7	H 2 8
(39)	学校のきまりを守っていますか	指定校	88.7	90.4	93.1	92.4	95.7	95.5
		非指定校	90.5	91.1	91.7	93.4	95.1	95.9
		指－非指	-1.8	-0.7	1.4	-1.0	0.6	-0.4
(42)	いじめはどんな理由があってもいけないと思いますか	指定校	95.6	96.0	96.6	92.8	93.3	93.2
		非指定校	96.4	96.5	96.8	92.8	93.9	93.6
		指－非指	-0.8	-0.5	-0.2	0	-0.6	-0.4
(43)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	指定校	92.7	93.2	93.6	93.6	93.8	92.8
		非指定校	93.8	93.8	94.6	93.7	94.2	93.0
		指－非指	-1.1	-0.6	-1.0	-0.1	-0.4	-0.2

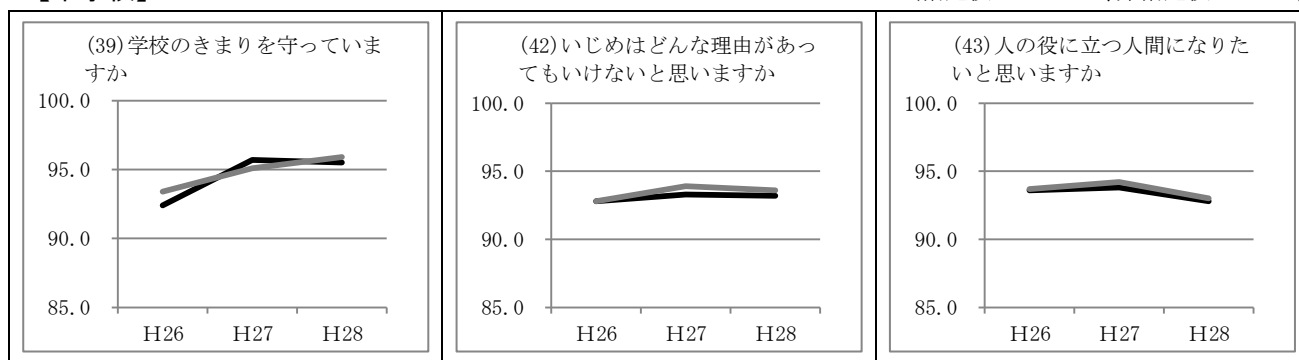
【小学校】

(指定校: —、非指定校: —)



【中学校】

(指定校: —、非指定校: —)



分析結果

- ・指定校では、小学校において、全ての項目に対する肯定的な回答の割合が2年連続で向上し、中学校では、前年度と比較して3項目の内、2つの項目において、非指定校との差が縮まっています。
- ・児童生徒の規範意識等の醸成に、一定の効果が見られます。「(39)学校のきまりを守っている」については、小学校では指定校93.1%と2年前より4.4%向上し、中学校の指定校では95.5%と、2年連続して95%を超える高い肯定的な回答の割合を維持しています。また、「(42)いじめはどんな理由があってもいけない」については、小中学校の指定校において非指定校との差が年々縮まっています。
- ・「(43)人の役に立つ人間になりたいと思いますか」については、中学校では前年度と比較して指定校(前年度比1.0%減)、非指定校(前年度比1.2%減)とも下降しています。今後、多くの多様な大人からの関わりを意図的に増やしていくことが大切です。

改善ポイントなど

- ・児童生徒の意識は改善の方向にあるものの、引き続き落ち着いて授業ができる学校環境をつくっていく必要があります。
- ・児童生徒の社会性や自己有用感を育むとともに、児童生徒の主体的な活動から問題行動の未然防止につなげられるよう、小中学校より推進校を指定し、現在取り組んでいるSST（ソーシャルスキルトレーニング）の成果検証を行って、普及啓発を図る必要があります。
- ・成果検証の結果を県内の小中学校の教職員に対して還流する機会を設定することで、学校内・地区内での取組に終わらず、他校・他地区への波及のための動きが期待されます。
- ・生徒指導主事等ミドルリーダーを対象に、事例検討に基づく生徒指導対応等についての研修会を行う等、「チーム学校」による生徒指導体制づくりを進め、児童生徒が安全・安心に学習に取り組める環境づくりに取り組んでいく必要があります。

平成27年度インターネット社会を生き抜く力の育成事業について

SNS等の普及により、児童生徒の交友関係も広がり、また、閉鎖的なサイトでのやり取り等、教員、保護者の目の届かないところでのトラブルが報告されています。

このようなことから、「みえネットスキルアップサポート」を引き続き実施し、児童生徒の情報モラル等の能力、理解度を確認することで、今後の指導に生かしていきます。併せて、引き続きネット上の検索、監視等を実施するとともに、県内各地で保護者等を対象としたネット啓発講座を開催するなど、学校・家庭・地域が協働して子どもを見守る体制の充実に努めます。

平成27年度の25中学校区(小学校27校、中学校25校)の結果を分析しました。

【表1】

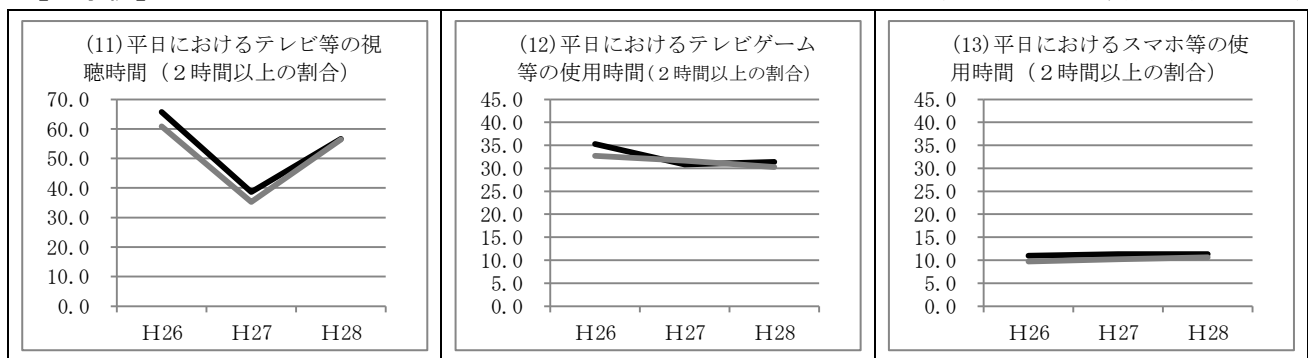
番号	項目内容		小学校				中学校			
			H26	H27	H28	H26→H28 増減率*	H26	H27	H28	H26→H28 増減率
(11)	平日におけるテレビ等の視聴時間 (2時間以上の割合)	実施校	65.7%	38.6%	56.6%		62.3%	32.2%	53.1%	
		未実施校	60.9%	35.3%	56.4%		59.6%	32.3%	50.1%	
		実-未実	4.8%	3.3%	0.2%		2.7%	-0.1%	3.0%	
(12)	平日におけるテレビゲーム等の使用時間 (2時間以上の割合)	実施校	35.3%	30.8%	31.4%		41.0%	39.2%	41.6%	
		未実施校	32.7%	31.7%	30.3%		39.9%	39.5%	37.9%	
		実-未実	2.6%	-0.9%	1.1%		1.1%	-0.3%	3.7%	
(13)	平日におけるスマホ等の使用時間 (2時間以上の割合)	実施校	11.0%	11.3%	11.3%	2.7%	40.5%	37.7%	34.8%	-14.1%
		未実施校	9.7%	10.2%	10.6%	9.3%	37.8%	35.2%	32.7%	-13.5%
		実-未実	1.3%	1.1%	0.7%		2.7%	2.5%	2.1%	

*：「増減率」とは、平成26年度の数値を基準とした平成28年度の増減を%で示したものです。

【図2】

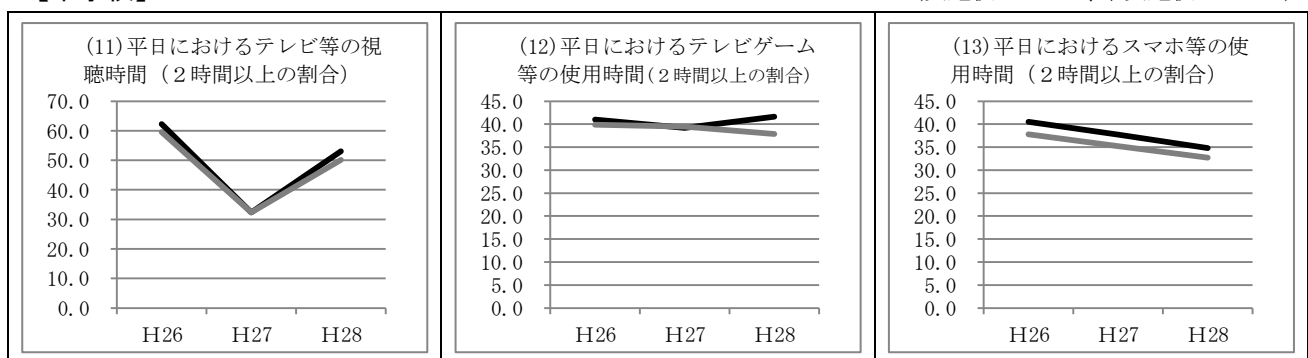
【小学校】

(実施校：——、未実施校：——)



【中学校】

(実施校：——、未実施校：——)



分析結果

- ・平日におけるスマホ等の使用時間（【図2】）については、小学校は実施校・未実施校とも微増傾向にあり、中学校は実施校・未実施校とも減少傾向にあります。なお、平成26年度から平成28年度までの増減率（【表1】）を見てみると、小学校の実施校が2.7%、未実施校が9.3%と、実施校の増加率の方が6.6%低くなっています。また、中学校の実施校が-14.1%、未実施校が-13.5%と、実施校の減少率が0.6%高くなっています。以上のことから、「ネット検定」を実施することの成果がスマホ等の使用時間に関する増減率の差として表れています。
- ・平成27年度に「ネット検定」を実施した小学校27校、中学校25校、計52校のアンケート結果によると、多くの実施校が、「ネット検定」の取組成果を実感しています。

〔アンケート結果（抜粋）〕

- ① 「ネット検定は、ネット社会を生き抜く力の育成につながると感じますか」という質問に対し、実施校の教員から「大変つながる」「つながる」との回答は、小学校で77.8%、中学校で88.0%でした。
- ② 「ネット検定を実施することにより、児童生徒が身につけることができたと思われるものはどれですか」という質問に対し、実施校の教員から「情報モラル」（小学校100%、中学校96.0%）という回答が最も多く、続いて小学校では「情報に参画する態度」（48.1%）、「法律」（40.7%）、中学校では「情報社会に参画する態度」（76.0%）、「情報機器の利用」（40.0%）でした。（複数回答）
- ③ 「ネット検定を受けて、スマホやゲーム機を利用する時に、さまざまなことに気を付けなければいけないことがわかりましたか」という質問に対して、「とてもわかった」「わかった」という回答は、実施校の小学校の児童が92.1%（第2回目アンケート）、実施校の中学校の生徒が91.8%（同）でした。

改善ポイントなど

- ・昨年度まで実施してきた「ネット検定」の成果を踏まえ、今年度から児童生徒の情報機器等の利用に関する知識や理解等の情報教育を推進する、「みえネットスキルアップサポート」を各校の取組として定着させていくことが必要です。
- ・保護者等を対象に、スマホ等の危険性や保護者の役割等について周知する「ネット啓発講座」を一層推進し、保護者の理解と協力を得て、児童生徒がインターネット社会を生き抜く力を養っていくことが必要です。
- ・スマホ等の急速な普及にともない、トラブルの未然防止や学習活動に支障をきたすことがないように、スマホ等の使用について家庭内でルールづくりを行うとともに平成28年度作成予定のネットトラブル対応事例集の活用に係る取組等が必要です。
- ・スマホ等の問題点や危険性等について、児童生徒が主体となって考え、問題解決に向けた取組を行う等、児童生徒が主体となった取組を推進していくことが必要です。

平成27年度学力向上のための読書活動推進事業について

【関連：第1章 P.11】

子どもの学力向上を目的に、図書館司書が配置されておらず読書環境の整備に課題のある学校（平成25年度から27年度までの3年間の合計で8市町延べ27校）に民間事業者への委託により図書館司書を配置し（配置した学校について、以下「指定校」と言います。）、司書教諭をはじめとした教員に対して学校図書館を活用した授業支援等の読書活動を推進してきました。

平成25～27年度の指定校（小学校13校、中学校6校）の結果を分析しました。

平均正答率について

【小学校】

	国語A			国語B			算数A			算数B		
実施年度	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
指定校	64.4	67.4	71.1	47.3	64.0	56.6	73.1	74.4	77.0	51.2	42.3	45.4
全国との差	-8.5	-2.6	-1.8	-8.2	-1.4	-1.2	-5.0	-0.8	-0.6	-7.0	-2.7	-1.8
三重県	69.6	68.0	71.7	52.5	65.3	58.1	76.2	74.8	78.3	56.0	44.1	47.1
全国との差	-3.3	-2.0	-1.6	-3.0	-0.1	0.3	-1.9	-0.4	0.7	-2.2	-0.9	-0.1
全国	72.9	70.0	72.9	55.5	65.4	57.8	78.1	75.2	77.6	58.2	45.0	47.2

【中学校】

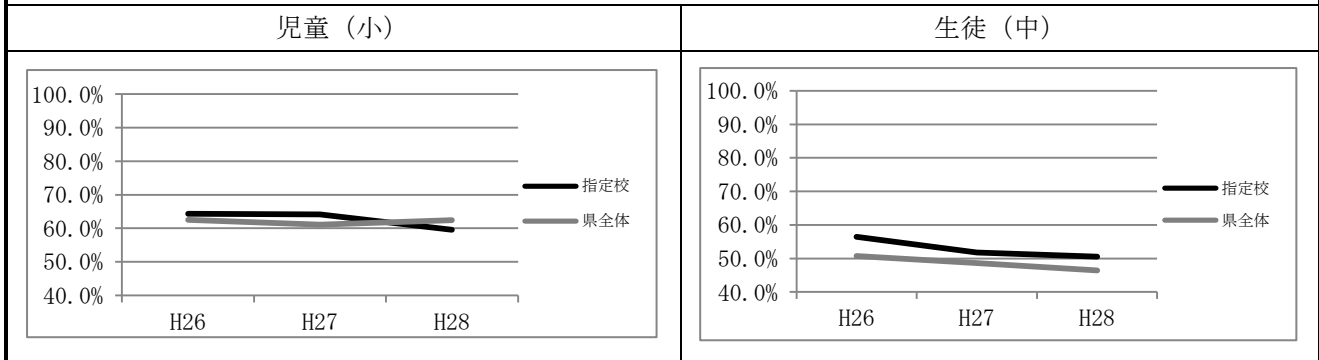
	国語A			国語B			数学A			数学B		
実施年度	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
指定校	75.9	74.4	71.3	47.3	62.3	59.4	65.2	61.7	58.7	56.8	36.8	38.9
全国との差	-3.5	-1.4	-4.3	-3.7	-3.5	-7.1	-2.2	-2.7	-3.5	-3.0	-4.8	-5.2
三重県	78.0	75.0	74.4	49.0	64.3	64.3	67.1	64.3	62.2	58.3	40.6	43.2
全国との差	-1.4	-0.8	-1.2	-2.0	-1.5	-2.2	-0.3	-0.1	0.0	-1.5	-1.0	-0.9
全国	79.4	75.8	75.6	51.0	65.8	66.5	67.4	64.4	62.2	59.8	41.6	44.1

質問紙について

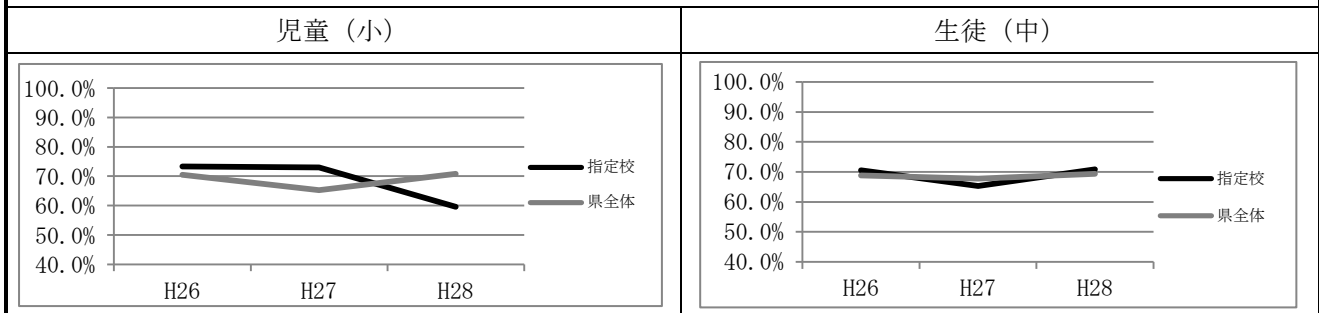
番号	項目内容		小学校			中学校		
			H26	H27	H28	H26	H27	H28
(17) [児童] [生徒]	学校の授業時間以外に、平日読書をする割合	指定校	64.3	64.1	59.6	56.5	51.8	50.5
		全国との差	-0.4	-0.1	-3.9	3.5	-0.4	0.8
		三重県	62.5	61.1	62.4	50.7	48.6	46.4
		全国との差	-2.2	-3.1	-1.1	-2.3	-3.6	-3.3
		全国	64.7	64.2	63.5	53.0	52.2	49.7
(64) [児童] [生徒]	読書は好きですか	指定校	73.3	73.0	59.6	70.5	65.3	70.8
		全国との差	0.8	0.2	-15.0	1.1	-2.6	0.9
		三重県	72.5	72.4	74.3	68.8	67.8	69.4
		全国との差	-0.5	-0.4	-0.3	-0.6	-0.1	-0.5
		全国	73.0	72.8	74.6	69.4	67.9	69.9
(24) [学校]	図書館資料を活用した授業を計画的に行ったか。 ※平成28年度から変更 「図書館資料」→「学校図書館」	指定校	92.3	92.3	100.0	66.7	83.3	83.3
		全国との差	-4.7	-5.4	2.3	-18.7	-3.7	-5.5
		三重県	95.8	97.8	97.3	82.1	90.7	88.1
		全国との差	-1.2	0.1	-0.4	-3.3	3.7	-0.7
		全国	97.0	97.7	97.7	85.4	87.0	88.8

第7章 学力向上に向けた施策取組結果等の状況

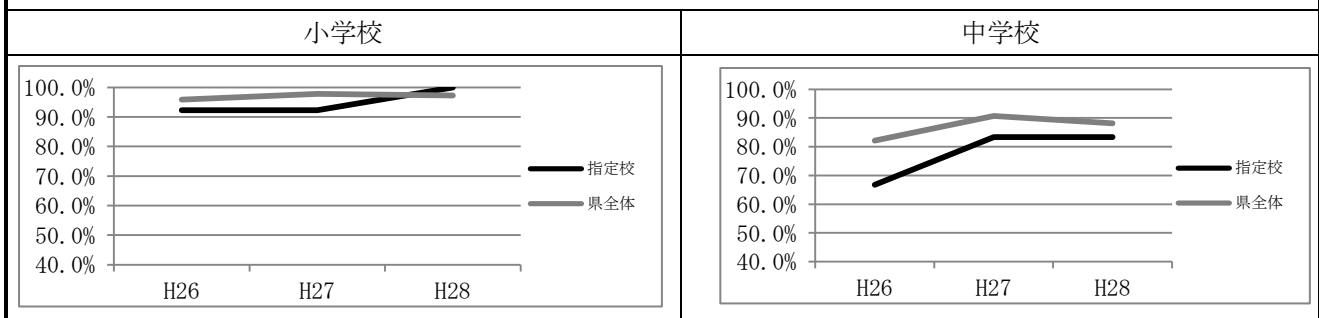
[児童生徒] (17) 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）（「10分以上」と回答した割合）



[児童生徒] (64) 読書は好きですか（「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）



[学校] (24) 図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか（回数に関わらず、行っていると回答した割合）



【参考】

◎読書時間（児童生徒質問番号(17)「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」と関連する項目

【小学校】

＜質問 18＞ 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか

回答者の割合 (対象：三重県)		図書館へ行く頻度	
		月に1回以上	年に数回以下
読書時間	10分以上	31.1%	31.4%
	10分未満	7.5%	30.0%

回答者の割合 (対象：三重県)		図書館へ行く頻度	
		月に1回以上	年に数回以下
読書時間	10分以上	14.0%	32.5%
	10分未満	3.9%	49.6%

＜質問 64＞ 読書は好きですか

回答者の割合 (対象：三重県)		読書が好き	
		当てはまる	当てはまらない
読書時間	10分以上	55.2%	7.2%
	10分未満	19.2%	18.4%

回答者の割合 (対象：三重県)		読書が好き	
		当てはまる	当てはまらない
読書時間	10分以上	42.7%	3.8%
	10分未満	27.0%	26.5%

分析結果

- ・県全体で見ると、小学生・中学生ともに「読書が好き」と回答した割合は約7割となっており、多くの児童・生徒が読書を好ましいものと考えています。
- ・小学生においては、県全体で見ると、学校の授業時間以外に読書を行う児童が前年度より増加しています。一方、指定校全体では前年度より減少しているものの、指定校のうち調査結果が個人差に影響を受けにくいと考えられる規模の学校（対象学年が県の平均規模：概ね40人以上）3校については読書時間が増加しており、司書派遣が一定の成果をあげたものと考えられます（H27：60.5%→H28：67.8%）。
- ・中学生においては、県全体で見ると、平日に授業時間以外で読書する割合や図書館へ行く頻度が、小学生に比べ少ない割合となっており、読書離れの傾向が見られます。原因として、受験勉強やクラブ活動にも時間が必要になるなど、読書時間の確保が難しいのではないかと考えられます。また、学校の授業時間以外に読書を行う生徒が前年度より減少しているものの、指定校の生徒については、県全体と比較すると減少傾向が小さくなっており、司書を活用した読書活動の働きかけにより、読書活動に関心を持たせることができたと考えられます。
- ・他にも、図書館資料や図書館等を活用した授業が小中学校ともに定着してきており、特に指定校（小学校）においては全校で実施されており、司書の派遣により、教員と連携した図書館活用の体制が充実したことがわかります。

改善ポイントなど

- ・学校司書配置の有効性を認識した市町では、司書を配置するなど司書派遣事業には一定の成果が見られました。しかしながら、未だに配置されていない市町もあるため、改善する必要があります。
- ・中学生の読書活動を推進するためには、身近で気軽に読書できる環境の整備が必要です。このためには、司書を積極的に活用し、学校図書館を頻繁に使用できる環境を整える、図書館を授業で積極的に活用する、あるいは教室に学級文庫をおくなど、本が身近に感じられる工夫や図書館行事を実施したり、展示コーナーを設置したりするなど図書館に関心をもたせるような仕掛けが必要です。また、楽しみながら読書活動を表現する機会（例えば、ビブリオバトルやブックトークなど）を設けることにより、生徒の読書活動への関心を喚起することができるのではないかと考えます。
- ・一方、小学生については、「読書が好き」な傾向のある児童ほど、読書時間が多い傾向にあります。このことから、図書館が楽しい場所であり、読書が楽しいものと思える取組（図書館行事や展示コーナー）を児童の視点に立って行うことも必要です。